



《こども版》 としょかんだより No. 310

2010年

4月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—

「かいぶつトロルのまほうのおしろ」

たなか 鮎子／作 アリス館



森の井戸におちたニーナは、かいぶつトロルのしろにまよいこみました。しろのなかには、石にされた人がたくさんいます。ニーナは、トロルがうばった、すいしょうのベルをとりかえし、石になった人びとをすくいだす決心をします。

「ぼくのちいさなカンガルー」

★ なすだ みのる／作 ひくまの出版

オーストラリアにいるおじさんから、「けんたのたんじょうプレゼントにカンガルーをおくるよ」と、手紙がとどきました。でも、とどいたのはカンガルーの切手1枚。けんたが、がっかりしていると切手から小さなカンガルーがとびだしてきました。



「ママ・ショップ」ははおやこうかんとりつぎでん 母親交換取次店 ★★

セシ・ジェンキンソン／作 主婦の友社



オーリは、ママとケンカしました。気に入らないママを交換できる店、ママ・ショップで、オーリはコンピューターで新しいママを選んでもらいます。新しく来たママの名前は「M44」、車せんしゃのかわりに戦車そうじゅうを操縦するのです。

あたらしくはいった本

えほん

「チロルちゃんとプクプク」 ながれぼしにおねがいのまき
おざき えみ／作 学習教育出版



プクプクは、チロルちゃんとみずうみでながれぼしを見る約束をしました。夜のみずうみは寒いので、プクプクはあたたかいシチューをつくります。でも、できあがったシチューは、ぜんぜんあじがしません。プクプクが、「おいしくなりますように」と、ながれぼしにおねがいすると、不思議なことがおこったのです。

ものがたり

「おばけのバケロン おばけクッキーをつくろう！」 ★
もとした いずみ／作 ポプラ社



たまちゃんは、おばけのバケロンの家におとまりに行きました。そこには、いたずらなおばけバケくんもやってきました。3人でクッキーをつくりましたが、ふしぎなことにふくろうのかたちをしたクッキーが、本物のふくろうになってとんでいくのです。



おしえて、世界のおはなし ドイツ



「赤ずきん」「ヘンゼルとグレーテル」など、楽しいお話「グリム童話」が生まれた国です。また、偉大な音楽家のバッハやベートーベン^{いだい}は、世界中で多くの人に親しまれています。最近では、ゴミの分別回収^{ぶんべつかいしゅう}などに取り組み、環境先進国^{かんきょうせんしんこく}としても有名です。

- 「おばけリンゴ」 ヤーノッシュ／作 福音館書店
- 「もじゃもじゃペーター」 ハイน์リッヒ・ホフマン／作 ほるぷ出版
- 「アルプスの少女」 ヨハンナ・スピリ／作 岩崎書店
- 「大どろぼうホッツェンプロッツ」 プロイスラー／ 偕成社
- 「モモ」 ミヒヤエル・エンデ／作 岩波書店

ものがたい

「^{はな}華花さんのあたらしい家」 ★★

田中 良子／作 ポプラ社



まやは、ママと華花おばあちゃんの3人暮らし。重い病気になったおばあちゃんは、遠くの病院に入院してしまいました。おしゃれで料理上手な^{りょうりじょうず}おばあちゃんがない家は、さみしくてつままない。まやは、1人でおばあちゃんに会いに行きました。

「本だらけの家でくらしたら」 ★★★

N. E. ボード／作 徳間書店



ある日、ファーンは自分が不思議な力をもつ「ダレデニアン」の血をひいていることを知ります。お父さんとファーンは、「ダレデニアンになる方法」という本^{てき}を敵から守るため、おばあちゃんの家を探しに行きます。ところが、そこは本だらけで、いったいどこにその本があるのかわかりません。

「^{あまとうせんにん}甘党仙人」 ★★★

^{はまの}濱野 京子／作 理論社

^{りく}陸の友だち、^{りんしょう}林翔のおじいさんが中国からやってきました。おじいさんは、髪^{つえ}の毛とひげが白く杖をもち、甘いものに目がありません。おじいさんと^{あくしゅ}握手した瞬間、おじいさんの声^{しゅんかん}が日本語に置き換わって、陸の頭の中にひびきました。これって、テレパシー？もしかしておじいさんは仙人なの？



ちしきの本

「^{たんい}身近な単位がわかる絵事典」

PHP 研究所



長さを表す^{あらわ}「メートル」や重さを表す「グラム」などを「単位」といいます。道具がない古代には、どんなものではかっていたのか、どうして「単位」が必要な^{かいせつ}のか、わかりやすく解説されています。また、身のまわりにある、いろいろな単位を楽しい絵を見ながら^{おぼ}覚えることができますよ。



名作をよもう！
今月の1さつ



「飛ぶ教室」 ★★★

エーリッヒ＝ケストナー／作 講談社

正義感せいぎかんが強いマルチン、作家志望さつかしぼうのジョーニー、臆病おくびょうなウリー、読書家のセバスチアン、勉強にがては苦手だけど腕っぷしうでは強いマチアスらは寄宿舎生活きしゆくしゃしている高等科1年の少年達です。マルチンの同級生が、下校中げこうちゆうに実業学校じつぎょうがっこうの生徒たちに連れ去られ、書き取りノートうばを奪われる事件が発生します。5人の少年たちは、廃車はいしゃされた禁煙車両きんえんしやりように住む「禁煙さん」に相談し、友だちとノートだっかんを奪還する計画をたてます。



もやまし あ・れ・こ・ね

やっおひきやまてんじかん
八尾曳山展示館

毎年5月3日には、おわら風の盆で有名な八尾で“八尾曳山祭”が行われます。この祭りの中心は、人形ちようこくや彫刻などの飾りがついた6台の曳山です。曳山は、三味線、笛、太鼓の音にあわせて坂の町八尾をねり歩き、夜には提灯ちようちんがかけられ、いっそうはなやかにります。

展示館には、豪華絢爛ごうかけんらんな曳山がいつも3台展示されています。



新学期がはじまります。これからも楽しい本をたくさんよんでね。



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272